

2026 年 2 月 12 日

スポーツを通じて未来人材の成長を支援するチャレンジ支援事業
「YMFS スポーツチャレンジ(体験／研究)助成」
2026 年度(第 20 期生)助成対象者 31 件を決定

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)は、2026 年度(第 20 期生)「YMFS スポーツチャレンジ(体験／研究)助成」について、体験助成 16 件、研究助成 15 件、計 31 件(総額 2,698 万円)の助成対象者を決定しました。助成金贈呈式は、2026 年 3 月中旬に実施します。

本助成制度は、目標を掲げ達成に至るまでのプロセスを重視しています。四半期報告、中間報告会、成果報告会による PDCA サイクルの実践と異分野交流の促進、高い専門性を持った審査委員からのアドバイスや、オンラインを活用したサポートなど、成長機会を提供する支援プログラムが特徴です。

2026 年度の助成対象者も若い未来人材が多く集まりました。引き続き、助成対象者が成長のために学び、刺激し合う機会と、チャレンジを加速するサポートを提供します。

2026 年度(第 20 期生)の助成概要 ※活動期間は 2026 年 4 月から 2027 年 3 月

プログラム	申請件数	採択件数	助成金額(計)
スポーツチャレンジ体験助成	53 件	16 件	1,549 万円
スポーツチャレンジ研究助成	40 件	15 件	1,149 万円
計	93 件	31 件	2,698 万円



※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。(担当: ^{みすみ}三角・^{やまかわ}山川)

www.ymfs.jp

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団 (YMFS)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500
TEL : 0538-32-9827 FAX : 0538-32-1112

Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)

2500 Shingai, Iwata, Shizuoka, 438-8501 Japan
Tel: +81 538 32 9827 Fax: +81 538 32 1112

2026 年度(第 20 期生)スポーツチャレンジ体験助成 対象者一覧 (2026 年 2 月 1 日現在)

「体験助成」は、アスリート・指導者・審判など各種体験活動に対して助成金を交付するもので、3 つのカテゴリーで構成しています。

- ジュニア(上限 70 万円):ジュニア世代の国際大会で実績を有する者
- ベーシック(上限 100 万円):国際レベルでの活躍を目指す者
- アドバンスド(上限 150 万円):国際レベルの実績を有する者

※五十音順

区分	氏名	種目	チャレンジテーマ
ジュニア	くろだ くるみ 黒田 胡桃	新体操/選手	日本代表として 2028 年ロス五輪 2032 年ブリスベン五輪への出場及びメダル獲得
	しみず なの 清水 菜乃	フェンシング(フルーレ)/選手	U20 世界選手権に日本代表として出場、メダル獲得
	よしざき そらの 吉崎 空乃	競技ダンス/選手	世界選手権決勝進出、国際大会上位入賞
	にしの たいが 西野 太翔	フィギュアスケート/選手	世界ジュニア選手権優勝 2030 年フランス五輪上位入賞
ベーシック	かくたに たい き 角谷 太樹	体操競技/選手	2028 年ロス五輪で金メダル獲得
	すぎ りょう ま 杉 僚真	ウインドサーフィン/選手	ワールドカップ U18 ジュニアボーイズクラス優勝
	たねだ なつ は 種田 なつは	アーティスティックスイミング/選手	国内主要大会で連覇・メダルを獲得、国際大会入賞
	ち ば あつ き 千葉 忠輝	フェンシング(フルーレ)/選手	2028 年のロス五輪を目指し、国際大会上位入賞
	とよずみ りゅうせい 豊澄 隆成	セーリング/選手	ILCA6 を極め、ILCA7 への飛躍 日本ユースセーラーとして世界トッププレーヤーへ
	ひらやま はる 平山 悠	トライアスロン/選手	国際大会上位入賞 ブリスベン五輪でメダル獲得
	ふるさわ りく 古澤 陸	レスリング/選手	2026 年 U17 世界選手権優勝 ブリスベン五輪で上位入賞
	やすい えいじゅん 安井 栄紇	体操競技/選手	2028 年ロス五輪団体・個人で金メダル獲得
	よこくら つ ぼ み 横倉 つぼみ	トライアスロン/選手	世界ジュニアトライアスロン選手権出場 国際大会上位入賞
アドバンスド	わ だ いん か 和田 胤佳	アルペンスノーボード/選手	2027 年デフリンピックにて GS,SL2 種目で金メダル、 健聴者ワールドカップ出場
	しまだ あやの 島田 綾乃	アーティスティックスイミング/選手	2028 年ロス五輪でメダル獲得
	のぐち りゅう 野口 颯	ウインドサーフィン・ウェイブ/選手	U21 ワールドチャンピオン及び、プロクラス TOP20

2026 年度(第 20 期生)スポーツチャレンジ研究助成 対象者一覧 (2026 年 2 月 1 日現在)

「研究助成」は、スポーツにかかわる学問、研究活動に対して助成金を交付するもので、2 つのカテゴリーで構成しています。

- 奨励①(上限 60 万円):大学院博士課程在籍もしくは満期退学者 1995 年 4 月 2 日以降生まれの者
- 奨励②(上限 80 万円):大学院博士号取得後 3 年以内 1990 年 4 月 2 日以降生まれの者
- 基本(上限 120 万円):大学院博士号取得後 3 年以上 1983 年 4 月 2 日以降生まれの者

※五十音順

区分	氏名	所属	分野	チャレンジテーマ
奨励 ①	いまい あやの 今井 彩乃	立命館大学大学院	自然科学	低酸素環境を必要としない低酸素トレーニング :水泳における自発的低換気を用いた高強度スプリント運動の効果
	えいはら ゆうり 永原 悠利	立命館大学大学院		個人の筋特性と動作特性を基盤とした 効率的かつ安全な最適走動作の構築
	おおた かずたか 太田 一岳	東京大学大学院		爆発的筋力は遠隔部位の冷却により向上するか?
	かのう りょうたろう 狩野 遼太郎	電気通信大学大学院		運動による乳酸動態を筋細胞レベルで解明する
	こ ぎょうえつ 胡 暁越	広島大学大学院		暑熱下運動後における熱中症対策としての 動静脈吻合血管冷却の効果検証
	はっとり さくら 服部 桜	日本体育大学大学院		スポーツ関連遺伝子の機能検証モデルの確立 ～候補遺伝子から要因遺伝子へ～
	ふじた ま こ 藤田 真子	同志社大学大学院		心拍ー運動リズム同期化現象による血液循環最適化の解明
	いまいづみ たく 今泉 拓	鹿屋体育大学	人文 社会	概数効果を利用した目標設定の有効性に関する実験的検討 :野球パフォーマンスを例として
奨励 ②	しまね ゆうた 嶋根 裕太	東京大学大学院	自然科学	強化学習を用いたスポーツ義足と 身体制御の共設計による運動メカニズムの解明
	にしかわ だい ち 西川 太智	立命館大学大学院		運動中に動員される筋線維と 筋肥大誘発性マイオカインの連関の解明
	まきの あきとし 牧野 晃宗	立命館大学		ランニング時のメカニカルストレスと骨代謝 :生理学および力学的アプローチによる疲労骨折のリスク解明への チャレンジ
	とよしま せいや 豊島 誠也	広島大学大学院	人文 社会	伝統スポーツを再解釈する若者たち ー持続可能なスポーツ観の形成プロセスの解明
基本	いのうえ こうしろう 井上 恒志郎	北海道医療大学	自然科学	海馬に対する自発運動刺激の強制運動による代替可能性検討
	そん ちゃんふあん 成 昌 夙	東京科学大学		運動におけるヒストンラクチル化に着目した乳酸バイオロジーの開拓
	かわと ゆうや 川戸 湧也	三重大学	人文 社会	SNS 時代におけるスポーツの「道」概念の変容 :「柔道」と「野球道」の言説に見る伝統的価値観の再生産と汚染